

『北之伊達日報』

(二月一二日版)

二〇〇八年二月一三日発行

総大生、伊達市の重要文化財に興奮！

伊達市滞二日目の二月一二日、総研大の学生らは、午前に伊達市噴火湾文化研究所を見学し、午後は伊達市の移住政策に関わりの深い二人の講演を聞き、昨日に引き続き市民との白熱したワークショップを行った。



伊達市噴火湾文化研究所では、伊達市にある絵

画や出土品を始めとする多彩な資料についての説明を受けた。なかでも重要文化財の巻物の巻き方や、アイヌの畑を切り取った考古資料での説明に学生達は好奇心を駆られた様子。

町づくりは人づくりーお二人の講演から

講演ではまず、住んでみたいまちづくり課の中澤篤さんから伊達市が進める「住みやすいまちづくり」の取り組みの話聞く。高齢者の住みやすい町を民間事業でやろうという考え方（伊達ウェルシールランド構想）が初発の計画であり、その基本概念は今も変わらない。その結果、北海道の八割の市町村は人口を減らす中、伊達市は人口の減少と無縁なのである。

次いでNHKのEテレ特集の番組でも知られた移住コンシェルジュの吉居大輔さんの講演。今では伊達に移住希望する人のコーディネーターを



務める吉居さんだが、彼自身も移住者であった。吉居さんが主に住んだ場所は、象徴的に一〇〇万都市（東京）→一〇〇万都市（札幌）→数万都市（伊達）の遍歴と表現された。吉居さんは、移住者が伊達に来る理由はそれこそ一人一人全然違うことに触れ、彼自身は子どもを伊達にあるシユタイナー学校に通わせるという教育が動機だった。

「伊達の魅力は人の良さなんです」

みなで議論の発火点にもなったが、吉居さんは移住者の定義とは何だろうという問いを出した。伊達に移住すると海から、山から、牧草からの風のおいが本当にいいと思う。湖も温泉もあって自然の豊さは申し分ない。大挙した鮭を見るだけで子どもとともに感動できた。そして何より東京じゃ絶対考えられない人とのつきあいの暖かさがここにはあった。だんだん時間が過ぎて、色々な美味しい海や山の幸をもらうことが当たり前と思うとき、移住者という言葉は無くなるのかなと吉居さんは笑う。

ただ、北海道であれば自然の恵みが豊かなの

は当り前。やっぱり伊達の魅力は、人の良さなんだと思う。都会と比べて伊達にないものじやなくて、あるものを見て下さいというのが吉居さんの信条だ。それは本当に伊達を気に入った人に来てほしいという吉居さんの思いでもある。そんな吉居さんが都会に出るのは、大きな本屋さんに行きたいときぐらい。そういう日は家族みんなで車に乗り、大型書店で四時間立ち読みをする。そんな都会の良いとこどりを楽しそうに話す吉居さんの笑顔が素敵だった。

自分を活かせる場所を探して

伊達の魅力は観光ではない。当り前の自然があつて、美味しい食べ物に囲まれ、人が良く、リピーターが多いこの町の秘密。それはじっくり住んでみたいという地域ブランド力の高さなのである。吉居さんは自分の存在価値が認められる、何らかの貢献ができていることがありがたいと語った。それがまさに伊達市の本質を衝いた言葉なのである。ワークショップで伊達市噴火湾研究所の青野さんは「伊達市の人の良さ」の正体とは結局、何かを自分たちでやってやる

うという力なのだと言った。それはワークショップでも二日目にして四グループ中二グループが市民の方たちの主導で発表していたことが何よりの証しである。



市民と学生のうねるパワー

たった二日で何かの答えが出るわけでもない。ただ確実に市民と学生の間でうねるパワーが芽生えだしてきたのも事実である。三日目は一日かけて伊達市の魅力再発見バスツアーが行われ

る。「生活者にとって必要な資料館とは何か」、伊達市の人間関係が織りなす豊かさをどう新しい資料館構想で発信していけるのか、明日以降その骨格がいよいよ見えてくるに違いない。(伊達総局 根津朝彦)

好評のワークショップ参加者の声から

☆昨日のフォーラムが思いのほか、楽しかったのでも参加。昨日同様ミーティングが盛り上がり楽しめました。(室蘭市・50代・男性) ☆若い人のワークショップで学んだことが多かった。お二人の講義で、伊達の町の良さについて一層の認識を深めました。先人の苦勞に感謝して、この町に住んでよかったですと思います。(伊達市・70代・男性) ☆二日目になって、グループワークにだいぶ慣れてきました。あつという間に時間がたつてしまいました。伊達市民のパワーを感じました。(伊達市・60代・女性) ☆地元参加者は皆伊達を愛している人ばかりで、考え方も前向きで、これらが楽しみという感じがしました。このことばかりでなく、伊達市民を巻き込んだ動きになるように期待します。(伊達市・60代・男性) ☆参加した方は皆人との交わりを望み、住みやすい町にしたい心一つと思いました。(伊達市・60代・女性)